

いもち病／ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(アルタナリア菌 エピコッカム菌 カーブラリア菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病／籾こうじ病 の同時防除剤

ノンプラスは協友アグリ(株)の登録商標

ノンプラスフロアブルはフェリムゾンにトリシクラゾール(ビーム)を
組み合わせた水稲用殺菌剤です。

NONPLUS

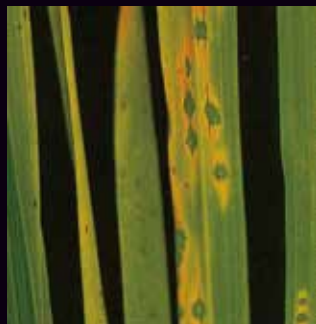
ノンプラス® フロアブル

フェリムゾン……………15.0% トリシクラゾール……………8.0%

特長

- ① 穂枯れ性病害にも作用し、高品質米生産の仕上げ防除剤として適しています。
- ② 鋭い治療効果と予防効果を持ち、散布適期幅の広い薬剤です。
- ③ 浸透移行性に優れているので、速やかにイネ体内にゆきわたり効果を発揮します。
- ④ 耐雨性に優れ、降雨による影響を受けにくい薬剤です。
- ⑤ 胞子の形成と飛散を阻止し、病原力を低下させることにより、散布後の病気の蔓延を抑える二次感染阻止作用が長期にわたって発揮されます。
- ⑥ 他剤で耐性のみられるいもち病菌や、ごま葉枯病菌に対しても安定した効果を発揮します。

ノンプラス処理による不活性病斑



いもち病病斑(無処理)



ノンブラス®フロアブル

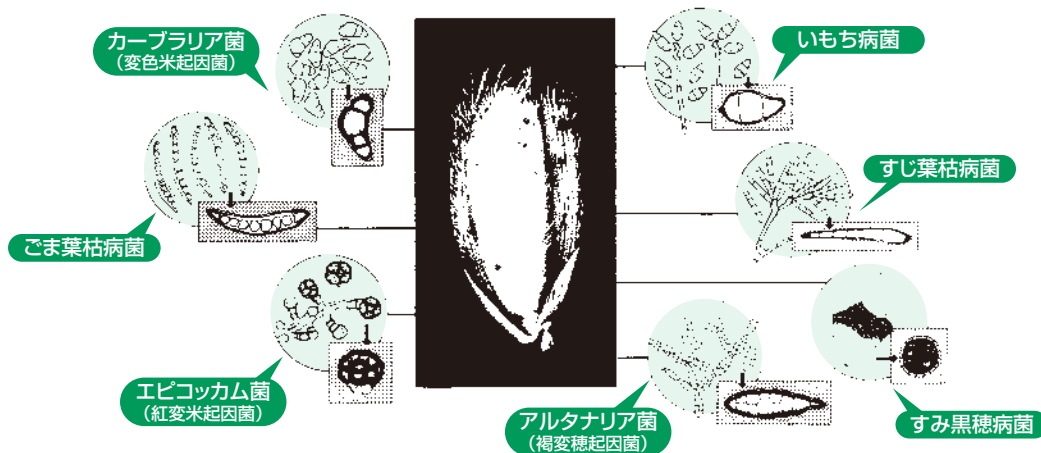
人畜毒性：普通物*

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米 (アルタナリア菌 エピコッカム菌 カーブラリア菌)	1000倍	60~150ℓ /10a	収穫 7日前まで	本剤……………2回以内 トリシクラゾール剤 ……………4回以内 (育苗箱への処理は 1回以内、 本田では3回以内)	散布
	もみ枯細菌病 内穎褐変病 稲こうじ病	300倍	25ℓ/10a		フェリムゾン剤 ……………2回以内	
	いもち病	30倍	3ℓ/10a			
		原液	120mℓ/10a			
いもち病	8倍	800mℓ/10a	無人ヘリコプター による散布			

[参考] 田植えから収穫までに、いろいろな病原菌が稲の生育や米の品質に影響を与えています。



フェリムゾンは、いもち病・ごま葉枯病をはじめ米の品質を低下させる穂枯れ性病害にも作用して、美しい穂の仕上げをお手伝いします。

⚠ 使用上の注意 (抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布してください。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ① 各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 微量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ③ 無人ヘリコプターによる散布に当たっては、散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ④ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行ってください。

- ⑤ 散布薬液の飛散によって動植物、特に野菜類の幼苗、なし(二十世紀・幸水・新水等)等の農作物の危被害や、自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ⑥ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
- ⑦ 使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 野菜類の幼苗及びなし(二十世紀・幸水・新水等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■使用前にはラベルをよく読んでください。■ラベルの記載以外には使用しないでください。■本剤は小児の手の届く所には置かないでください。■空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2023年12月現在のものです。